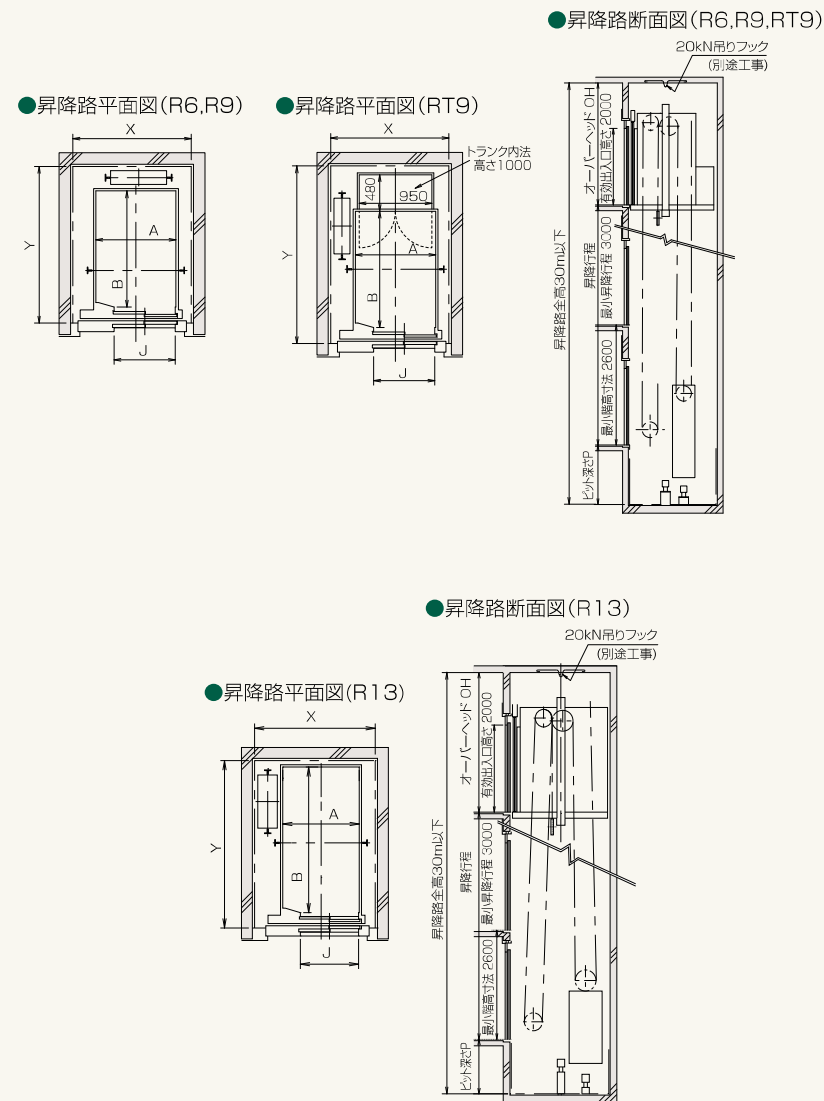


# 据付図



機種一覧(単位: mm)

形式	定員(人)	積載量(kg)	定格速度(m/min)	かご内法 A×B (mm)	出入口 J (mm)	昇降路平面 X×Y (mm)	オーバーヘッド OH (mm)	電動機容量 (kW)	ビット深さ P (mm)
R6-2S-45	6	450	45	1050×1150	800	1550×1700	3150	2.1	1250
R6-2S-60			60			(1550×1800)*	3200	2.8	
R6-2S-90			90			1600×1750	3400	4.2	
R6-2S-105	9	600	105	1050×1520	800	(1600×1850)*	3450	4.9	1350
R9-2S-45			45			1550×2100	3150	2.8	
R9-2S-60			60			(1550×2200)*	3200	3.7	
R9-2S-90	9	600	90	1050×1520	800	1600×2150	3400	5.6	1350
R9-2S-105			105			(1600×2200)*	3450	6.5	
RT9-2S-45			45			1550×2350	3150	2.8	
RT9-2S-60	9	600	60	1050×1520 トランク内法 950×480	800	(1550×2450)*	3200	3.7	1250
RT9-2S-90			90			1600×2400	3400	5.6	
RT9-2S-105			105			(1600×2450)*	3450	6.5	
R13-2S-45	13	850	45	1050×2000	800	1650×2350	3150	4.2	1250
R13-2S-60			60			(1650×2450)*	3200	5.6	
R13-2S-90			90			1700×2350	3400	8.3	
R13-2S-105			105			(1700×2450)*	3450	9.7	

(注)1. 最大停止箇所数は10停止です。また、最大昇降路全高は30mです。二方向出入口は適用できません。2. ( )内の値はBタイプ枠以外を使用の場合の寸法を示します。3. 昇降路内法はビット防水仕上後の有効寸法です。4. ビット下部は原則として使用できません。5. 建物が鉄骨構造・PC構造の場合はご相談ください。6. 昇降路寸法はJIS A 4301・1983によります。7. 昇降路耐震設計・施工指針(2009年版)耐震クラスA<sub>0</sub>が基本仕様です。

# 工事範囲

エレベーターの設計・据付工事は当社が責任をもってお引受けいたします。  
下記の項目については、除外工事としてエレベーターの見積りに含まれておりませんので、  
建築工事および電気等の設備工事として施工くださるようお願いいたします。

## 建築工事関係

- 十分な強度の昇降路築造・耐火処理工事及び各階乗場穴あけ工事。  
(コンクリート打ちの誤差は25mm以下に願います。なお、オーバーヘッド寸法の誤差については20mm以下に願います。誤差がこれより大きいときは必要に応じて、はつり・肉付け工事を願います)
- 鉄骨構造・PC構造の昇降路では、各階のファスナー設置工事、乗場部品取付用下地鋼材の設置工事、又はインサート埋込み工事。
- 各階乗場の出入口枠周囲のモルタル詰め工事。
- エレベーター据付後の乗場壁廻り及び床、その他の補修仕上工事。
- ビット内防水仕上工事。(必要に応じて排水設備工事を含みます)
- 昇降路頂部に機器吊上げ用のトローリービーム、又はフックの取付工事。(吊荷重=20kN以上のものを設置してください)
- ビット内の間仕切り工事、又は中間ビーム設置工事。
- ビットが深い場合の埋戻し工事。
- 通過階のある場合の非常口設置工事。
- 乗場に雨水が浸入するおそれがある場合の、ひさし、床勾配及び排水溝設置工事。

## 設備工事関係

- 昇降路最下階までの動力電源・照明電源・接地線の引込み並びにつなぎ込み工事。
- 昇降路外のインターホン・昇降路の異なる群管理エレベーター(例: 対面配置)の群管理用配管配線工事・その他エレベーターに必要な配管配線工事。
- エレベーターの遠隔監視用配管配線工事。(昇降路最下階から最寄りの電話中継盤まで)
- ビットの点検用コンセント設備工事。
- 昇降路頂部の煙感知器の設備工事。
- ディフェンスドアをご採用の場合、ディフェンスドア設置階乗降ロビーの火災感知器、又は、煙感知器の設置工事。

## そのほか次の事項にもご協力願います。

- 電源電圧の変動は+5%~-10%以内・電圧不平衡率5%以内に保つよう電源を設置してください。
- 昇降路内の温度は40℃、湿度は月平均90%・日平均95%を超えないようにしてください。
- 輸送可能な適温配膳車や台車などの重量物は250kg以下に分けて搬出入してください。
- 外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保してください。
- 音響設備、OA機器、通信機器など、高周波ノイズに対して敏感な設備に隣接する場合は、事前にご相談ください。
- 昇降路には有害ガスや甚だしい塵埃などが入らないようにしてください。
- エレベーター部品、据付材料の保管場所は無償貸与願います。
- 据付工事用仮設電源及び試運転用電力は無償供給願います。
- エレベーターを工事用として使用する場合は別途ご用命ください。
- エレベーター部品の搬入経路を確保願います。

ご照会の際は次の事項をお知らせください。

お電話などでご照会をいただく場合には、下記の項目についてご連絡ください。なお、ご質問などがございましたら、営業マンを早速伺わせませますのでお気軽にお申し付けください。  
1. 設置建物名称 2. 建設地住所 3. 機種形式 4. 設置台数 5. 停止階数 6. 昇降行程 7. 電源電圧・周波数



国際的な品質保証規格「ISO 9001」、環境管理規格「ISO 14001」を取得。

三菱電機のエレベーター・エスカレーターを開発製造する稲沢製作所は、1994年11月に国際標準化機構(ISO)の品質保証規格「ISO9001」そして、また1996年3月には昇降機の生産工場としては国内初の環境管理規格「ISO14001」を取得しました。これは開発、設計から製造、検査など一貫した三菱電機の品質保証システム、および環境活動が評価されたものです。